



委員会とは？

- 議会運営委員会とは、議会の運営に関すること等を協議する組織です。
- 常任委員会とは、議案などを本会議以外の場で、より詳しく審査・調査するための組織です。富士宮市議会には、担当する案件により、総務文教、環境厚生、産業都市の3つの常任委員会が組織されており、議会運営委員会も合わせて4つの委員会は全て議員のみで構成されています。

議会運営委員会

【佐野 和彦 委員長 コメント】

富士宮市議会では、独自に新型コロナウイルス感染症に係る定例会等の対応を策定しています。これは当市の感染症動向を、その時々で判断することによって、安全かつ適切に議会運営を行うためのものです。9月定例会においても、これに則り、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行った上で議会運営を行いました。

また、9月定例会では、以下のような重要な案件を審議しました。

- ・決算審査特別委員会
- ・暴力団追放に関する決議
- ・大規模災害に対する備えの充実を求める意見書の提出
- ・新型コロナウイルス感染症に対して全ての市民が一丸となって乗り越えていくための決議 など

議会提出議案も数多くあり、全議員が賛同し富士宮市の難局を乗り越える姿勢がとても色濃く見えた議会でもありました。これからも議会運営が市民の福祉向上に繋がることに努力をし、邁進していきたいと思えます。

総務文教委員会

所管事務調査内容

- コロナ禍における学校の現状について
- 富士宮市の公共交通の確保について(政策課題)

【松永 孝男 委員長 コメント】

コロナ禍における学校の現状では、感染防止対策、学校行事、学力保証など広範囲にわたる説明を聞きました。感染防止対策としては、手洗いの徹底やマスクの着用などの基本的な対応に加え、ドアノブ、手すり、スイッチなどの消毒、また、始業式などは校内放送を使い3密を避けているとのことでした。運動会や修学旅行などの行事も、感染防止に配慮しながら9月から11月にかけて行うとのことでした。また富士宮市では小・中学校の全ての教室にエアコンが設置されたことから、猛暑の中でもほぼ予定通りに授業ができていることなどを確認しました。

公共交通の確保については、富士宮市が全国に先駆けて始めた画期的なオンデマンド型タクシー「宮タク」を、お年寄りや障がいのある方の生活の足としてより利用しやすくするために、タクシー協会との意見交換会で出された意見も参考にしながら、内房エリア及び北部エリアから乗り換えなしで中心市街地まで行けること、利用者の多い地域については増便を検討すること、スマートフォンなどによる予約可能なシステムを検討すること、などの改善を当局への提言書としてまとめています。令和3年度の予算編成に間に合わせるよう11月議会で委員長報告をします。



▲委員会開催の様子